

NO. 3は、管内の好事例を紹介します！

けいこく G I G A 通信



令和4年1月17日(月) NO.3 京築教育事務所教育指導室

築上町立椎田小学校のオンライン授業の取組を紹介します！

Q：オンライン授業の実施に向けて、事前にどのような準備を行いましたか？

A：いつ臨時休業等になっても対応できるように、1学期からまずは学校の中で Zoom に入室したり操作をしたりする練習から始めました。初めは教室に子どもと先生がいる状態で、入室や操作に困っている子どもに支援をしながら練習をしました。慣れてきたら、子どもは教室、先生は他の教室にいる状態で練習を行うなど、教師と離れた状態でも操作ができるように段階的に練習をしていきました。

Q：オンライン授業に必要な機器は？

A：タブレット、パソコンは2台準備しました。

- ① カメラ・プレゼン用（教師や板書、プレゼン資料を映す）
- ② モニター用（ギャラリービューで子どもの様子を確認する）
モニター用はプロジェクターと接続して拡大表示をしました。また、黒板をすべて映すと字が見えなくなってしまうので、子どもが見やすいように板書の範囲を限定しました。



機器の配置や板書の範囲の様子

Q：オンライン授業をする際に気を付けることは？

A：オンラインといういつもと違う状況なので、まずは子どもが安心して参加できるようにすることが大切です。そのために、一人一人の名前を呼びながら健康観察をしたり、お楽しみタイム（先生クイズ、子ども同士のクイズ、私の宝物紹介など）の時間を設定したりして、また明日も入室したいという雰囲気をつくりました。

Q：オンライン授業を成功させるためのポイントは？

A：うまくいかなかった課題をその日のうちに職員全員で共有し、改善策をみんなで考えることが大切です。本校では、オンライン授業を実施した日の放課後に、ジャムボードを使った研修を位置付け、次のオンライン授業で改善できるようにしました。



ジャムボードで出し合った課題

今回、椎田小学校を訪問させていただいて感じたことは、先生方がオンラインでも生き生きと授業をされていたことです。どの学級の子どもたちも、とても楽しそうに授業に参加していました。また、先生方の工夫が随所に見られ、校長先生のリーダーシップのもと担任外の先生も一丸となってチームとして取り組まれていることもとても印象的でした。

椎田小学校では、いつ臨時休業等になっても子どもの学びを止めないための準備を進めてこられました。椎田小学校の取組から、「段階的に準備を行うこと」「子どもの安心感を大事にすること」「改善策を職員全員で考えること」「チームとして取り組むこと」が大切だと強く感じました。

椎田小学校の取組は、これからオンライン授業の準備を進めていかれる学校にとって、大変参考になる取組ではないでしょうか。椎田小学校の皆様、御協力ありがとうございました。

オンライン授業について調べるなら「福岡県教育センター」のホームページがオススメ！

活用コンテンツはこちら [Click here for contents](#)
▶ 教育センターが作成したICT活用に役立つコンテンツを配信しています。

活用サイトはこちら [Click here for the website](#)
▶ 他の教育機関のICT活用に役立つウェブサイトを紹介しています。

福岡県教育センターのホームページには、プレゼン資料と読み原稿つきの資料も掲載されているので、そのまま校内研修で使うことができます！

